

第1回(2016年)受賞者

※団体として受賞



高岡銅器 | 富山県
株式会社 能作*



南部鉄器 | 岩手県
株式会社 岩鑄*



越前和紙 | 福井県
杉原 吉直(株式会社 杉原商店)



伝統技術ディレクター
立川 裕大(株式会社 t.c.k.w)



九谷焼 | 石川県
福島 武山

第2回(2018年)受賞者



輪島塗 | 石川県
桐本 泰一(輪島キリモト)



燕鋤起銅器 | 新潟県
株式会社 玉川堂*



大洲和紙 | 愛媛県
齋藤 宏之(株式会社 五十崎社中)



経営者 | 奈良県
中川 政七(株式会社 中川政七商店)



九谷焼 | 石川県
山本 篤(株式会社 妙泉陶房)

第3回(2020年)受賞者



宮崎手紬(綾の手紬) | 宮崎県
秋山 眞和(綾の手紬染織工房)



南部鉄器 | 岩手県
タヤマスタジオ 株式会社*



市川和紙 | 山梨県
株式会社 大直*



漆精製・販売 | 京都府
株式会社 堤浅吉漆店*



越後三条打刀物 | 新潟県
水落 良市(三条製作所)

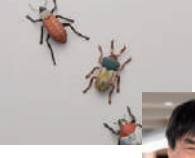
第4回(2022年)受賞者



鳥城紬 | 岡山県
鳥城紬保存会*



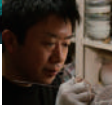
漆芸 | 香川県
佐々木 正博



江戸木目込人形 | 東京都
株式会社 松崎人形*



伊賀くみひも | 三重県
松山 好成(松山 株式会社)



九谷焼 | 石川県
宮本 雅夫(真生齋)

三井広報委員会とは

三井広報委員会は、三井グループ企業24社で構成し、様々な文化活動および広報活動を通じて、国際交流や地域社会の活性化に貢献するとともに、社会の繁栄と福祉に寄与し、三井グループのより一層のイメージ向上を目指しています。



「人を大切に、多様な個性と価値を尊重することで社会を豊かにする」ことを目的とした社会貢献活動



日本の伝統を継承しながら未来につながるものづくりに真摯に取り組み、さらに発展させている伝統工芸の担い手の活動を応援したいという想い



一般的に注目が集まりやすい攻撃陣や投手陣だけでなく、野球の土台ともいえる守備の大切さを知ってほしい、守備陣にも光を当てたい、という想い



三井広報委員会
https://www.mitsuijr.com

三井広報委員会 会員会社

三機工業	新日本空調	三井住友建設	サッポロビール	東レ	王子ホールディングス	デンカ	三井化学	日本製鋼所	三井金属	東洋エン지니어リング
三井E&S	商船三井	三井物産	三越伊勢丹ホールディングス	三井住友海上	三井住友銀行	三井住友ファイナンス&リース	JA三井リース	大樹生命		
三井住友トラスト・ホールディングス	三井不動産	三井倉庫ホールディングス	エムサービス							

応募受付

【募集期間】
2023年12月15日(金)―
2024年 2月29日(木)必着

【審査ポイント】
技術・技能、創造性、持続性。その視点から未来につながる取り組みを評価します。
以前応募された方も、改めてご応募いただけます。(自薦・他薦不問)

第5回
三井
ゴールデン
遠賞

受け継がれる魂、
進化し続ける技

伝統文化における革新性とは何でしょうか。
三井広報委員会は、日本の伝統を継承しながら未来につながるものづくりに真摯に取り組み、さらに発展させている伝統工芸の担い手の活動にそれを見出しました。
私たちはこの賞を通して、日本の伝統を次世代につなぐ取り組みを応援していきます。

第5回「三井ゴールデン匠賞」応募要項

2023年12月15日 募集開始

伝統文化における革新性とは何でしょうか。

三井広報委員会は、日本の伝統を継承しながら未来につながるものづくりに真摯に取り組み、さらに発展させている伝統工芸の担い手の活動にそれを見出しました。

私たちはこの賞を通して、日本の伝統を次世代につなぐ取り組みを応援していきます。

賞の種類と賞金、入選

●三井ゴールデン匠賞 5名または5団体以内
トロフィーおよび賞金50万円を贈与。

●審査員特別賞 若干名(該当者無しの場合もあり)
トロフィーおよび賞金20万円を贈与。

●奨励賞 若干名(該当者無しの場合もあり)
トロフィーおよび賞金10万円を贈与。

●入選 上記の受賞者を含めて20名または20団体以内

※受賞者および入選者は、2025年1月下旬に開催予定の贈賞式にご招待いたします。(受賞者には、交通費の補助があります)
※受賞者・入選者の取り組みや作品をご紹介する冊子を制作いたします。

●オーディエンス賞 1名または1団体
一般の方に伝統工芸を身近に感じていただくことを目的とし、インターネットに加え、展示の会場で一般の方からの投票により、三井ゴールデン匠賞受賞者の中から選出。トロフィーを贈与。

応募資格

伝統工芸の職務に従事している個人または団体で日本在住の方(国籍は問いません)

- 伝統工芸作品および伝統工芸に関わる器具や素材などの開発活動についても応募対象となります。
- プロデューサー、ディレクターと作家との協同、または異業種を含む団体なども応募可能です。
- 過去に応募されて、三井ゴールデン匠賞を受賞されなかった取り組みについては、改めてご応募いただけます。
- 無形財や食品、生物については応募の対象外とさせていただきます。
- 入選の方には、応募される取り組みを象徴する作品1点を期日内に指定する宛先に発送いただきます。
(お送りいただいた作品は、二次審査および、贈賞式で使用させていただきます)
- 応募される取り組みを表す作品は、一辺の長さが2mを超えないようにしてください。
- 応募資格につきましては、三井ゴールデン匠賞 Web サイト「よくある質問」<https://mgt.mitsuipr.com/about/qa.html> も併せてご参照ください。

応募方法 (推薦も受け付けております。詳細は応募用紙をご確認ください)



※ダウンロードが難しい場合は送付いたしますので、下記の三井ゴールデン匠賞事務局までご連絡ください。

【応募書類送付先】

〒134-0086 東京都江戸川区臨海町3-6-4 ヒューリック葛西臨海ビル507
株式会社ハート・アンド・アート内 三井ゴールデン匠賞事務局

【お問い合わせ先】

<https://mgt.mitsuipr.com/about> 03-6457-0960(平日9:00～17:00) mgt@mitsuipr.com

審査のポイント

技術・技能、創造性、持続性。その視点から未来につながる取り組みを評価します。
若手から熟練者まであらゆる伝統工芸の担い手による多彩な取り組みのご応募をお待ちしております。

審査員



【審査員長】外館 和子
工芸評論家
多摩美術大学教授



小林 祐子
三井記念美術館
学芸課長



河井 隆徳
一般財団法人
伝統的工芸品産業振興協会
常務理事

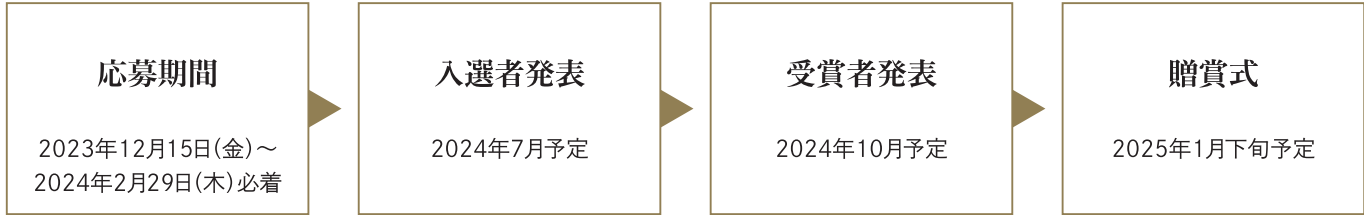


戸田 敏夫
日本伝統工芸士会 会長



千 宗屋
武者小路千家家元後嗣

スケジュール



※今後の状況により、企画が変更、中止になる場合があります。
最新のお知らせは随時、ホームページで配信いたします。ご応募に際しては、必ずホームページで最新の情報をご確認ください。

主催

三井広報委員会 <https://mgt.mitsuipr.com>

Facebook <https://www.facebook.com/mitsuigoldentakumi/> Instagram <https://www.instagram.com/mitsuigoldentakumi/>

後援

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

協力

和くらし・くらぶ